

令和5年度 市民意識調査

〒市民生活相談センター ☎ 983・2621

皆さんの意見や要望を市政の参考とするため、単純無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に市民意識調査を5月に実施しました。

調査は郵送およびインターネットで実施し、有効回答数は1,100件（うち、インターネットによる回答300件）でした。有効回答率は55.0%で、前年より3.1ポイント減少しており、インターネットによる回答が71件減りました。

調査内容

【継続調査項目】

「居住環境」、「市の取り組みの満足度」、「各種計画の指標に関する項目」「幸福感」、「健康」、「自治会・町内会での活動」、「環境への取り組み」、「広報活動」、「災害対策」、「公共交通」、「文化的環境」、「障がいのある人への理解」、「男女共同参画」、「ドメスティック・バイオレンス」

【新規調査項目】

「店頭で商品を購入する際の決済方法」

POINT ①

「市への愛着率」や「住みやすさ」が高い

- ▶ 「市への愛着率^{※1}」89.2%（前年度87.4%）は、平成15年度の調査開始以来最高値となっています。
※1 市への愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」
- ▶ 「住みやすさ^{※2}」93.0%（前年度91.6%）も、高い数値が維持されています。
※2 住みやすさ＝「非常に住みやすい」＋「どちらかというに住みやすい」

POINT ②

「せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」の満足率が高い

「市の取り組みの満足度」の調査では、満足率1位がせせらぎと緑や花を活かしたまちづくり（79.5%）、2位が「広報みしま」による市政情報の提供（73.4%）、3位が健康診査、健康相談等の健康増進（68.7%）でした。不満率は、1位が歩道の整備（59.1%）、2位が生活道路の整備（55.5%）3位が三島駅周辺（北口・南口）の整備（50.1%）でした。

POINT ③

保健、医療、福祉のまちづくりへの期待が継続

将来都市像の調査では、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」への期待が継続しています。

将来都市像		令和5年度(前年比)	令和4年度(順位)	令和3年度(順位)
1位	保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち	29.0%(+0.3ポイント)	28.7%(1位)	31.2%(1位)
2位	自然や環境に優しいやすらぎのあるまち	16.2%(-2.2ポイント)	18.4%(2位)	19.0%(2位)
3位	歴史や文化を大切にした風格あるまち	12.9%(+1.4ポイント)	11.5%(4位)	11.4%(4位)

POINT ④

市民の幸福感は国・県の平均よりも高くなっています

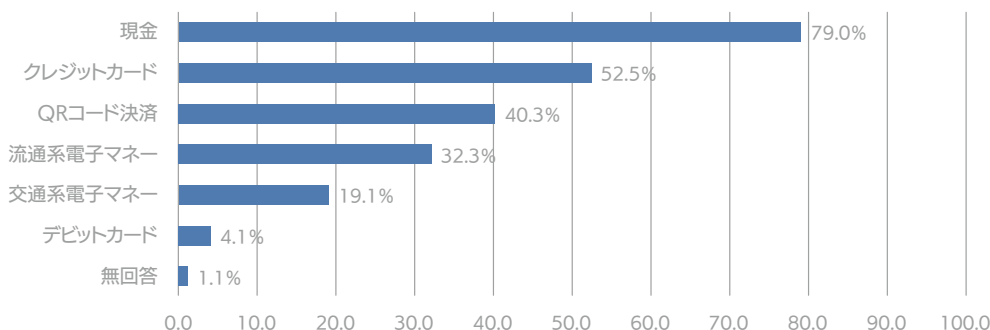
「現在、あなたはどの程度幸せですか。（「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。）」の問いに対し、市民の平均点は6.89で、前年より0.07ポイント増えています。また、国の平均点6.47、静岡県内の平均点6.38を上回っています

令和5年度の新規調査項目(キャッシュレス化への適応状況)について

(1) 店頭で商品を購入する際の決済方法について

市民のキャッシュレス化への適応状況を調査しました。商品を購入する際の決済方法は「現金(79.0%)」の割合が最も高く、次いで「クレジットカード(52.5%)」、「QRコード決済(40.3%)」の順となりました。

決済方法について (n=1,100)

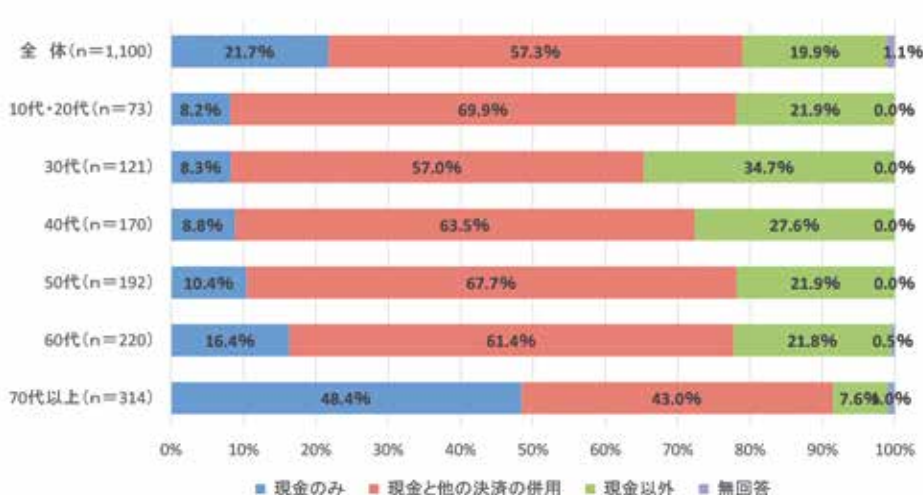


(2) 決済における現金の使用状況について

店頭で商品を購入する際の決済方法として「現金のみ」は21.7%となっています。

年代別にみると、「現金のみ」は40歳代以下の年齢で1割を切っています。年代が上がるにつれて「現金のみ」の割合は高くなる傾向にあり、特に70歳以上では48.4%と半数近くを占めています。一方、決済方法を「現金以外」と回答した割合は30歳代で34.7%と約3割半ばを占めて高く、10～60歳代にかけて2割以上と一定割合がキャッシュレス化を果たしています。

決済方法(現金の使用状況) (n=1,100)



調査にご回答いただいた皆さん、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。調査の詳細については、市ホームページをご覧ください。



←詳細はこちら